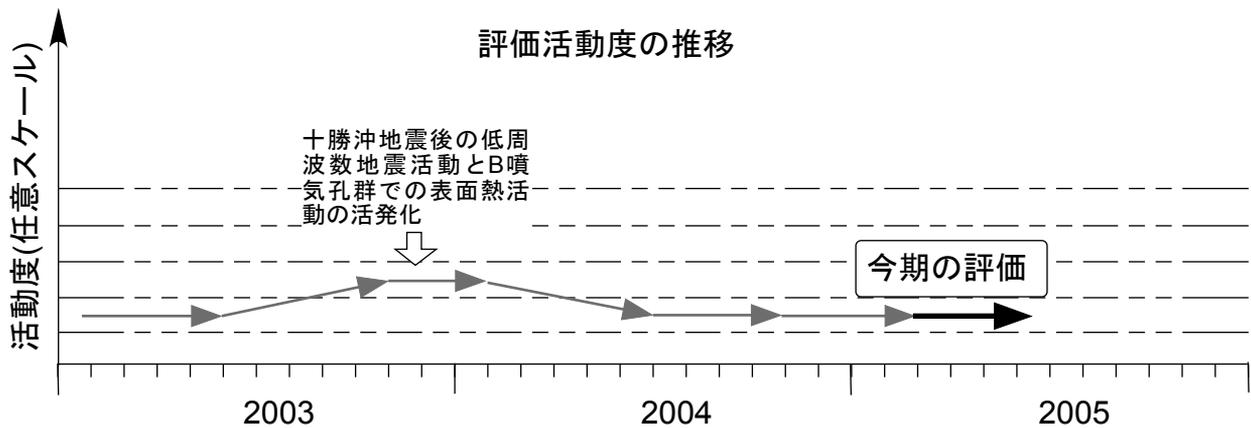


樽前山

○活動評価（2005年2月～2005年5月）

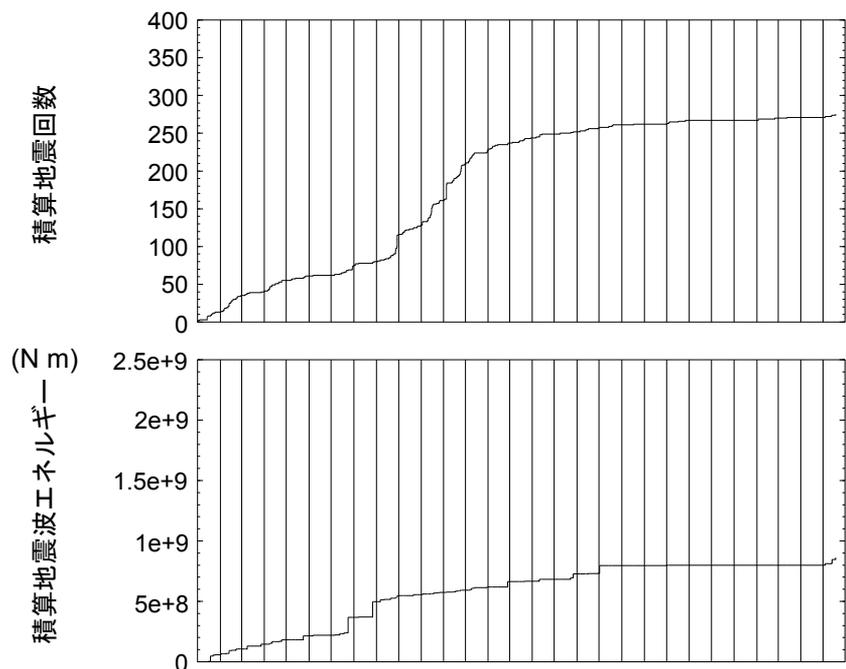
総合評価	個別評価		
➡	地震活動	➡	2004年1月以降からの落ち着いた活動レベルで推移した。
	B噴気孔群周辺の表面熱活動	➡	表面温度分布および放熱量とも変化はなく、表面熱活動は落ち着いた状態で推移した。



○火山性地震活動

樽前山では一昨年9月の十勝沖地震以降しばらくの間地震活動の高い状態が続いていたが、2004年1月頃より元の活動レベルに戻り、現在は落ち着いた状態が続いている。2004年3月～7月にかけてはデータ処理環境の変更作業に伴い断続的に欠測となっている。また2004年9月に北海道を襲った台風18号のために山頂近傍の観測点が壊滅的被害を受け、現在に至るまで運用を停止している。そのため震源決定ができる地震の数が大幅に減っている。

地震波エネルギーは Gutenberg-Richterの式に基づいてマグニチュードから推定したものである。



樽前山